

● JICA国内研修ケンバ訪問記 VOL. 31
中国貴州省地域振興のための観光開発人材育成事業@和歌山編

OJAMA-SHIMASU

ただだみりこ

陳さんは観光協会での仕事ぶりも評判らしい。中国人観光客はもう3人日本人のお客さんの対応も上手くなってるし、町のパンフレットを中国語に訳してもらったり、広報DVDを作った時は、ナレーションまでつけてくれました。

来週、関西国際空港で和歌山キャンパインでも即戦力になってもらおうと思ってます。

休日も自転車で町の観光地を見て回っているらしい。

きっと私なんかよりずっと知ってますね。結構マニアックな所にも行ってみたいですからね。

そんな陳さんは職場の人だけでなく、町の人とも自然に仲良くなっているそう。休日に一緒に出かけたリ、食事をしたリする友達もできたみたいですよ。

この職場にもすでになじんでいる感じですね。

不思議な人だね。

そして勝浦の夜はけ

2月×日 午後4時50分 紀伊勝浦駅1階の那智勝浦町観光協会でおじやます。

研修員の陳さんはホテルで実習中のことだった。

普段は二つで受付などの実務研修を受けているんです。

先週から今週は旧正月で、中国からの観光客が多くなるので、それにあわせてホテルでの研修を組んでいるんです。

この事業では、昨年9月に吉野さんが現地指導をして、10月に陳さんが日本に来たそう。

いや、あつちはすごいスケールでして、那智の滝が100個くらいある感じなんです。

勝浦町が持つその辺のノウハウを伝えて、互いに協力していければいいと思います。

翌朝7時から朝食バイキングの実習も見学。

朝は朝で、配膳がなにかわりにお客さんがいっせいに来るから忙しそうですね。

午後5時半、夕陽迫る中、舟で実習先のホテル中の島へ。

昨日までフロント実習で、今日からレストラン実習なんですよ。

じゃあ、レストラン実習は今日が初日なんですよ。

島全体がホテルになっている

午前9時、朝食タイムが終わって、陳さんの朝の実習も終了。その後、ロビーでじっくり話を聞くことができた。

ホテルの実習は、レストランフロアに客室係がいたり、従業員が臨機応変に持ち場を兼任して、少ない人数でもサービスの質は高く、効率よく運営していると思えました。見習いたいです。

忙しい時に効率的にサポートしてくれるパートさんの存在も見逃せませんね。

支那人自らを贈りのお客様を送迎するのも驚きました。

なにより従業員みんなが職場に誇りを持って仕事しているのが素晴らしいです。

観光協会では、翻訳やナレーションまでできることは何でもせらせてもらいました。役に立ちたいので。

舟を降りると、まず総支配人に出迎えられ、お世話になります。

貴州省の旅行会社に勤務する陳さんは、初めてだそう。

こういう実習は新鮮です。せっかくの機会なので、しっかり学びたいです。

大丈夫かな... 大丈夫かな... お客さんが来ると笑顔で対応。

その後、お客さんを案内したり、食事の配膳や後片付けをする仕事ぶりを吉野さんの話を聞きながら1時間ほど見学した。

（これまでの研修で印象に残ったことは？）

旅行会社での研修ですね！ マリニッダーに体験参加したんです。ガイドやサービスの仕方など、すごく参考になりました。

あと、熊野古道の7時間のコースを歩いたこと！！

ちやうどたいへんでしたけど、自然と山岳信仰が融合した様子がとても印象的でした。

それと、勝浦のみなさんによく話を聞いて、いい交流がたっさりできたことですね。

レストランに行くところ、着物に似た2部式というユニフォームを着た陳さんが待っていた。

今日初めて着たんです!! どうですか? 似合ってますか?

似合ってます。似合ってます。似合ってます。

何でも吸収しようとして一生懸命でした。すごく前向きな感じします。

副支配人の羽山さん

さうなんですかね。

午前10時、夕方からの実習までいったん宿舎に戻る。陳さんと舟に乗ってホテルを後に。

5カ月に及ぶ研修はあと2週間ほどで終了、今は帰国に向け、休みの時間も大忙しなのだそう。

これからレポートを、ガリガリとめないと。

この協力で生まれた那智勝浦町と貴州省のきずながお互いの発展に生かされ、どちらもお互いの観光客にぎわいますように。

おわり

今ご紹介するのは、和歌山県とJICA大阪による草の根技術協力事業「中国貴州省地域振興のための観光開発人材育成事業」。和歌山県は紀伊山地の自然と山岳信仰という伝統文化が複合した世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」で知られるが、貴州省にも東洋一の滝とされる黄果树大瀑布とさまざまな少数民族の伝統文化があり、世界遺産登録を目指している。また、貧困人口が多い同省は、そうした観光資源を生かした地域振興に取り組んでおり、この事業は、和歌山県の観光や世界遺産登録・活用の知見をもとに、貴州省の観光開発を担う人材を育成することが目的だ。

日本一の「那智の滝」を有する那智勝浦町が昨年8月に貴州省と友好の滝提携を結んだ縁で、同町観光協会が協力することになり、9月に吉野剛弘・事務局次長が貴州省に派遣され、観光開発のノウハウを指導。また、10月から5カ月間、中国貴州海外旅行社の陳秀芬さんが来日し、県内各地の観光資源を調査したほか、協会や旅行会社、ホテルなどで実務研修を受けた。私たちはホテルで実習中の陳さんを取材。まじめで明るく、活動的な彼女はすっかり町に溶け込んでいるようだった。同町は今後も協力・交流を継続し、友好を深めていく意向だ。

ただだみりこ 漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に『セイシュンの食卓』『異国のメシー』『クッキング カンタン』『キッチン』など。http://majop.com/Neji/